

「パパの育休取得は 虐待防止やママの産後不安解消にも不可欠」 —FJ緊急フォーラム—

2020年2月6日

子育てアドバイザー/キャリアコンサルタント

育児情報誌「ninaruマガジン」エグゼクティブアドバイザー

WEBサイト「こそだて」編集長

NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク 理事

こうそときこ

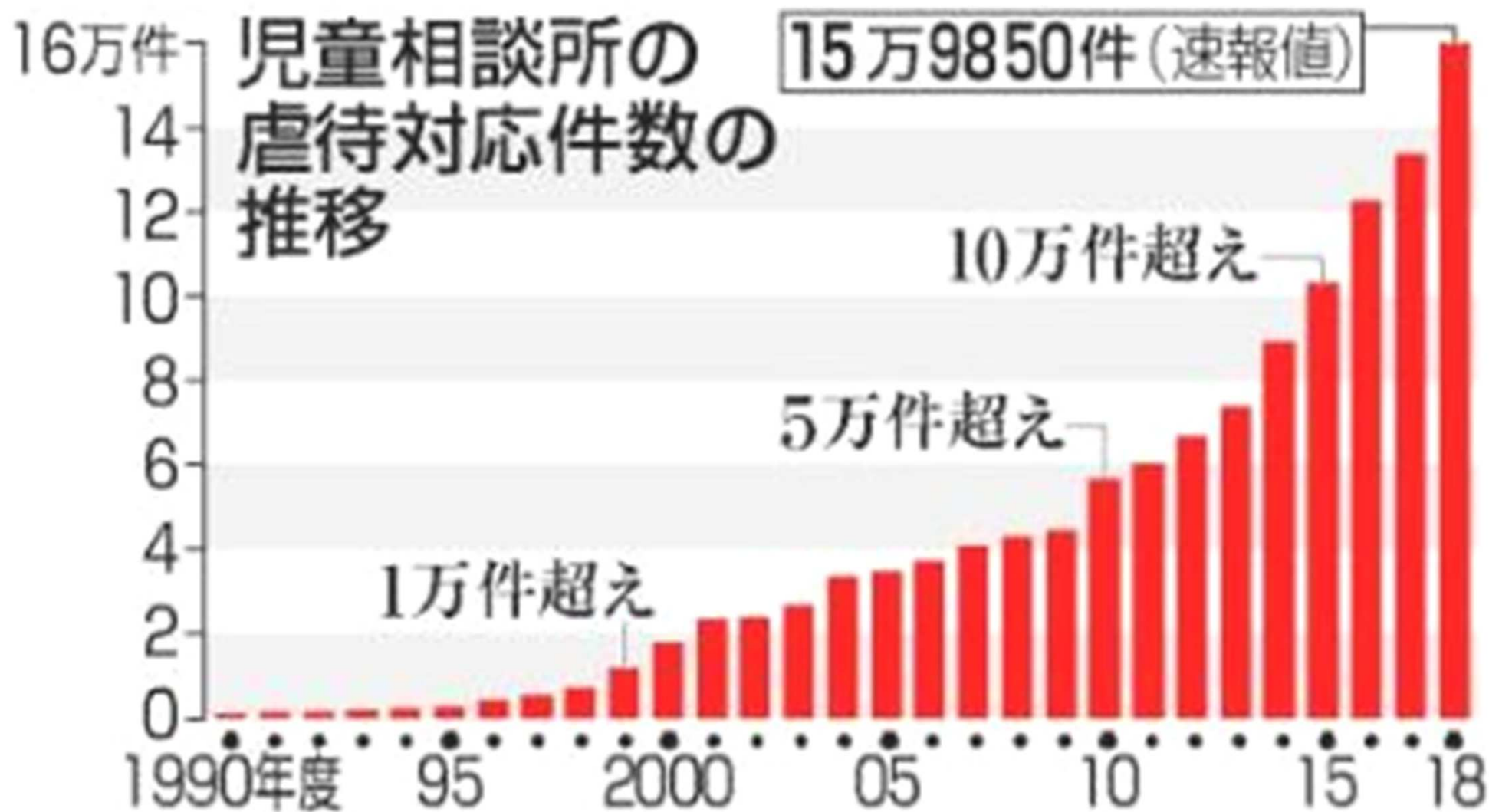
高祖 常子 こうそときこ

- NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク 理事
(オレンジリボン)
 - NPO法人タイガーマスク基金 理事
 - NPO法人こどもすこやかサポートネット 理事
 - NPO法人ファザーリング・ジャパン 理事
マザーリングプロジェクト リーダー
 - にっぽん子育て応援団 運営委員
 - 足立区男女共同参画推進委員
 - 足立区子ども支援専門部会特別部会員
 - 厚生労働省「体罰等によらない子育ての推進に関する検討会」構成員
-
- インターネットサイト「こそだて」編集長/育児情報誌「miku」元編集長
 - 育児情報誌「ninaruマガジン」エグゼクティブアドバイザー
 - 保育園・幼稚園教諭資格
 - キャリアコンサルタント(国家資格)
 - 認定子育てアドバイザー
(NPO法人日本子育てアドバイザー協会)
 - 心理学検定1級
 - ファミリーサポート提供会員など

こそだて：<http://www.kosodate.co.jp/>

こそだてF B：<http://www.facebook.com/kosodate>



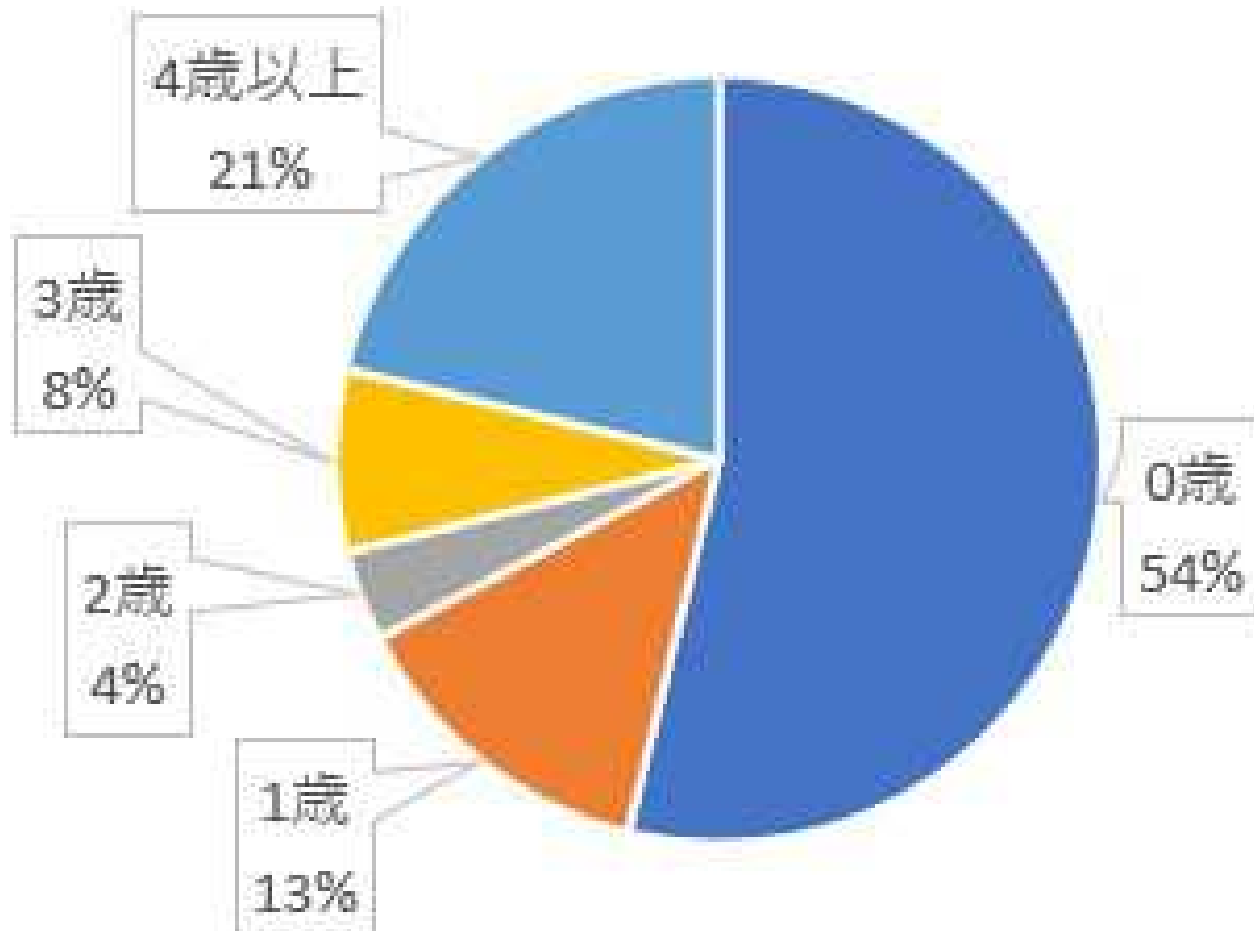


子どもの虐待死者数

- 厚生労働省の集計では、虐待を受けて死亡した子ども(18歳未満)は27年度84人、28年度77人、29年度65人
- 日本小児科学会は8日までに、虐待で死亡した可能性のある15歳未満の子供が全国で年間約350人に上るとの推計を初めてまとめた(2016年日本経済新聞)

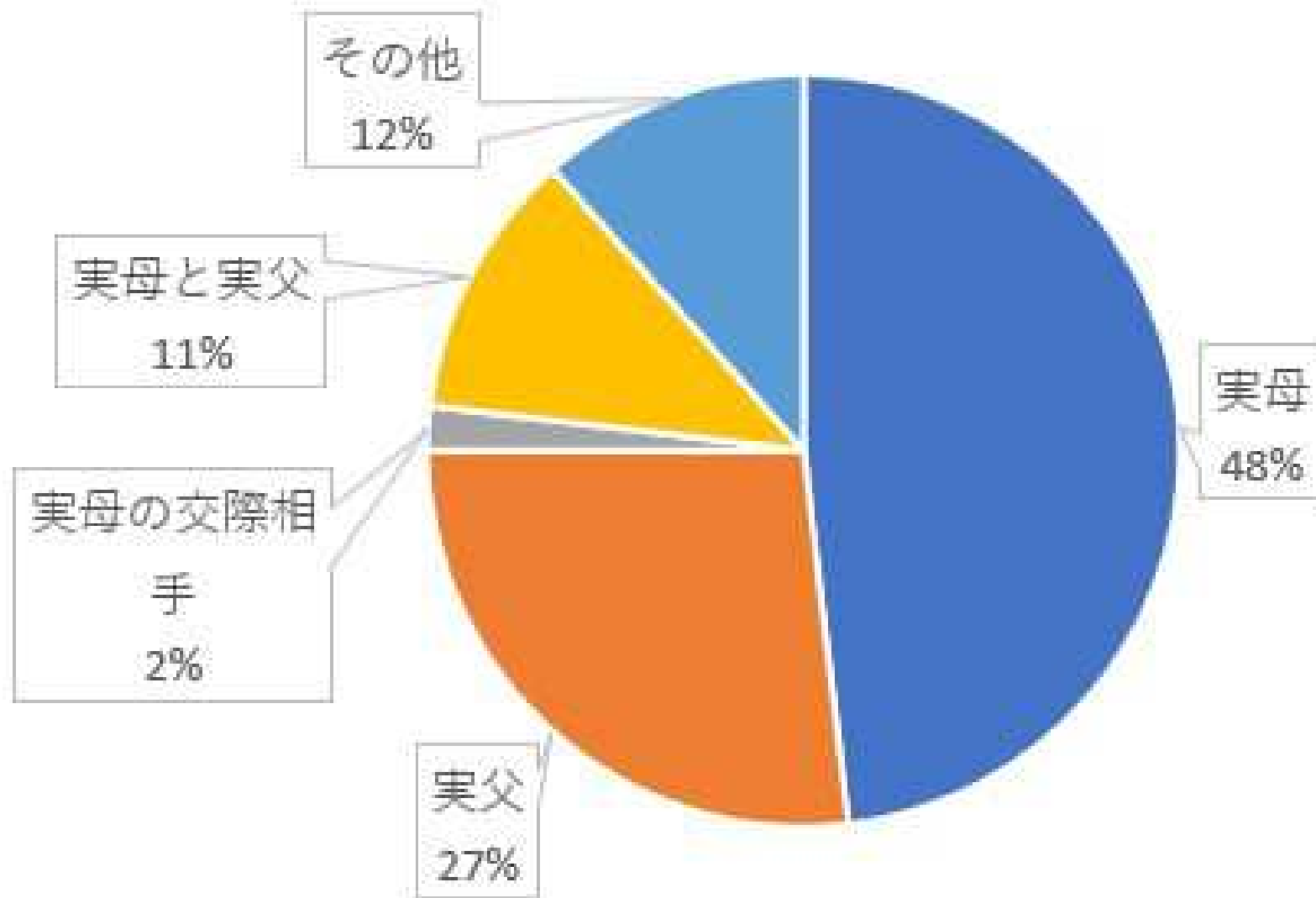
虐待による死亡事例の 約8割が「3歳以下」

第15次（2018年度）虐待死年齢（心中以外）



子ども虐待の加害者の約5割は、母親

第15次（2018年度）虐待死加害者(心中以外)



産後1年までに自殺した妊産婦は全 国で少なくとも102人(2年間)

2015-2016年の2年間(厚生労働省研究班が発表)

■産後1年までに死亡した妊産婦の主な死因と人数

自殺	102
がん	75
心疾患	28
脳神経疾患	24
出血	23
羊水塞栓(そくせん)	13
妊娠高血圧症候群	11

厚生労働省研究班の
資料をもとに作製

特別なサポートが必要な家族

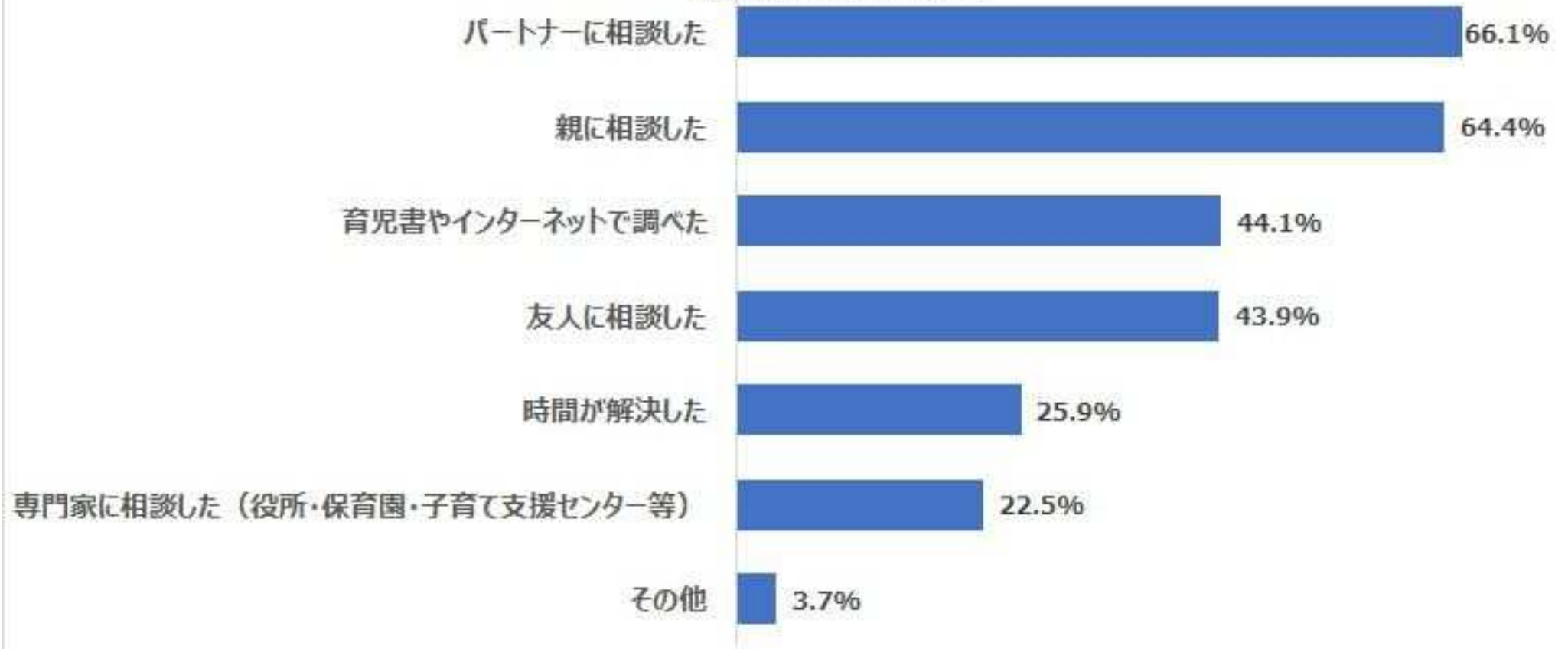
- 子ども虐待／DV
- 子どもが障がい児（発達障がい、身体障がい……）
- きょうだいに障がい児がいる
- 医療ケア児（未就学児2万5000人/平成25年文科省）
- アトピー、アレルギーなど重症疾患
- ダブルケア（子育てと介護の同時進行）
- 貧困 ・親がうつなどの精神疾患を抱えている
- 一人親 ・多胎児
- 外国籍（親の一方または両方）
- ステップファミリー（子連れ再婚など血縁のない親子・きょうだい）
- 里親（親族里親…）
- 親との確執（サポートが受けられない、受けたくない） など

養育者がストレスを抱えると、子どもがストレスのはけ口に

ママの一番の相談相手はパパ♡

【図7】子育てで大変なことはどうしたか

(複数回答可/n=1562)



家族がGOODサイクルになると、 仕事にも打ち込める！

■ 家族のサイクルをGOODサイクルに

